



ICTを用いた禁煙支援事業 有識者会議 第1回

事業背景について



令和6年3月19日
大阪市健康局

本日の内容

01 大阪市の健康づくり

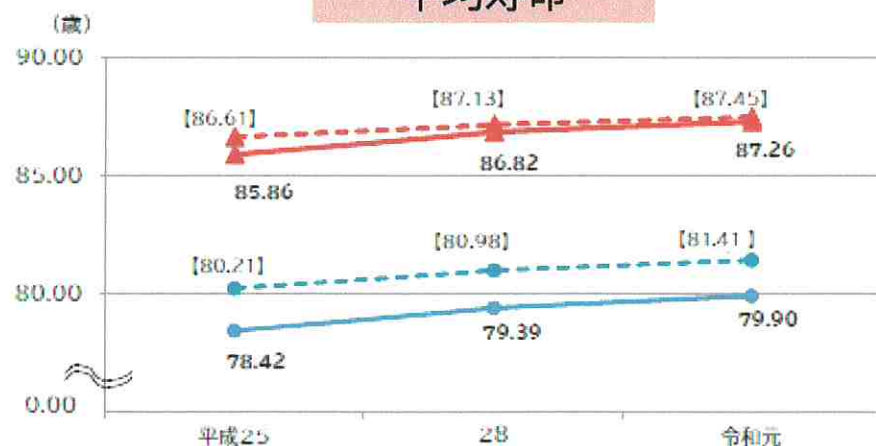
大阪市民の寿命

「すこやか大阪21(第3次)」(案)より抜粋

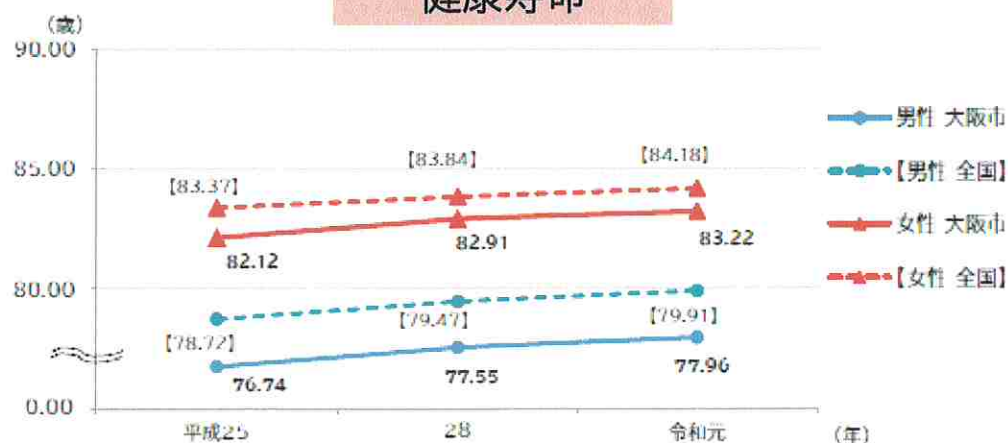
平均寿命は、男性79.90歳、女性87.26歳

健康寿命は、男性77.96歳、女性83.22歳 となっており、延伸しているものの、全国と比較して低くなっています。

平均寿命



健康寿命



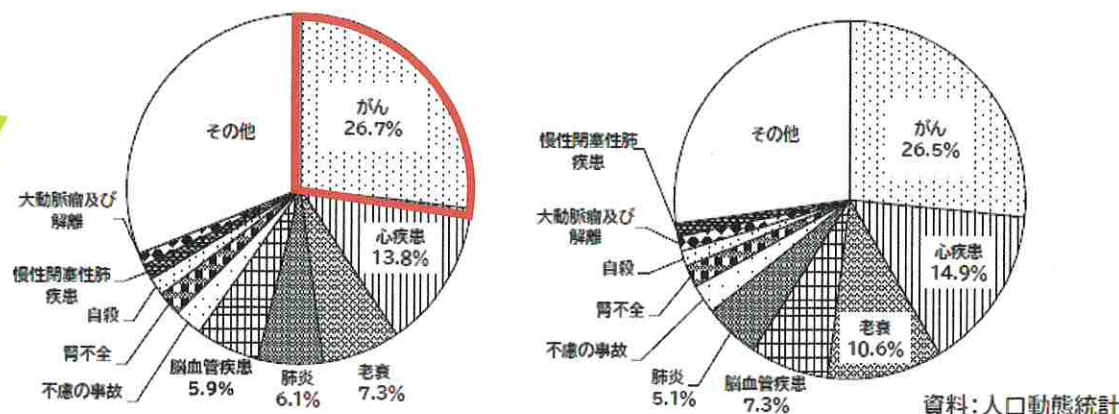
＜大阪市＞厚生労働科学 健康寿命研究による「健康寿命算定」(グラフ)で算定
 使用データ：推計人口(各年10月1日現在の総人口)、死亡数(人口動態統計)
 介護保険被保険者数と認定者数(各年9月末現在)
 ＜全国＞令和3年度 厚生労働行政推進調査事業費補助金(循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業)
 「健康日本21(第二次)の統合的評価と次期健康づくり運動に向けた研究」分担研究報告書
 「健康寿命の算定・評価と延伸可能性の予測に関する研究」より引用

大阪市民とがんに関する状況

「すこやか大阪21(第3次)」(案)より抜粋

死因別死亡では
「がん」が最も多く、
26.7%

【大阪市】 令和3年 死因別死亡割合 【全国】



年齢調整死亡率(人口10万対)・部位別年齢調整死亡比
(大阪市・全国)【令和元(2019)年】

「部位別のがん」では、肺がんや肝臓がん
の死亡比が全国と比較し、高い

		全がん	胃がん	大腸がん	肺がん	肝臓がん	乳がん	子宮がん
男	大阪市の死亡率	172.3	20.9	22.6	44.2	16.2	—	—
	全国の死亡率	149.5	18.7	19.7	35.3	11.4	—	—
	死亡率比(市/全国)	1.15	1.12	1.15	1.25	1.42	—	—
女	大阪市の死亡率	90.4	7.7	12.3	14.2	5.0	12.2	5.7
	全国の死亡率	83.7	7.0	11.7	10.4	3.5	12.2	5.8
	死亡率比(市/全国)	1.08	1.10	1.05	1.37	1.43	1.00	0.98

資料:＜大阪市＞死亡数(人口動態統計)、推計人口(10月1日現在の総人口)、昭和60年モデル人口の数値を用いて算出
＜全 国＞人口動態統計より引用

大阪市健康増進計画「すこやか大阪21」

第2次後期計画（H30～R5）より

H13年から健康増進計画を策定し、各分野ごとに取り組んでいる中の1つとして「たばこ」が位置づけられています。

全体目標

①健康寿命の延伸

②健康格差の縮小

(1)生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底及びこころの健康づくり

①がん

②循環器疾患

③糖尿病

④COPD
(慢性閉塞性肺疾患)

⑤骨粗しょう症

⑥こころの健康

(2)ライフステージに応じた生活習慣の改善

①栄養・食生活

I 適正体重の維持
II 適切な量と質の
食事の摂取
III 共食の増加
IV 食をとりまく環境
の整備

②身体活動 ・運動

I 身体活動量の
増加
II 住民が運動しや
すい環境づくり

③休養

I 睡眠による休養
の確保

④アルコール

I 適正な飲酒
II 未成年者の
飲酒防止
III 妊娠中の飲
酒防止

⑤たばこ

I たばこをやめたい人
の禁煙
II 未成年者の喫煙防止
III 妊娠中の喫煙防止
IV 受動喫煙防止

⑥歯・口腔の健康

I う蝕予防
II 定期的な歯科健診の
受診
III 歯周病予防
IV 口腔機能の維持・向上
V 歯の喪失予防

(3)健康を支え、守るための地域づくり

人とつながり健康を育む地域づくり

I ボランティア活動 II すこやかパートナー活動(講演会等への参加) III 共食の増加(再掲:(2)①III)
IV すこやかパートナー活動(運動) V 住民が運動しやすい環境づくり(再掲:(2)②II)

大阪市健康増進計画「すこやか大阪21」 目標値

第2次後期(H30～R5)

喫煙率減少し、
目標達成

妊婦の喫煙は、大きな変
化がなく目標達成できず

分野	取組みの柱	項目番号	目標項目	詳細項目番号	指標の詳細	策定時の値	目標値	現状値	評価	データソース
たばこ	たばこをやめたい人の禁煙	30	成人の喫煙率の減少	60	男性	32.0%	28.2%以下	23.3%	A	市民アンケート
				61	女性	13.4%	11.8%以下	8.6%	A	
	未成年者の喫煙防止	31	未成年者の喫煙をなくす (この1ヶ月間で喫煙したことのある者の割合)	62	中学生男性	0.5%	0%	0.4%	C	中高生アンケート
				63	中学生女性	0.1%		0.1%	C	
				64	高校生男性	2.5%		1.0%	C	
				65	高校生女性	1.0%		1.2%	C	
	妊婦中の喫煙防止	32	妊婦中の喫煙をなくす	66	妊婦	2.7%	0%	2.2%	C	妊婦アンケート 大阪府母子健康手帳調査
	受動喫煙防止	33	受動喫煙の機会を有する者の割合の減少	67	学校 (建物内禁煙を実施していない割合)	4.0%	0%	0%	A	大阪府独自調査 健康増進法改正
				68	家庭 (受動喫煙を受けている者の割合)	13.9%	8%以下	10.3%	B	市民アンケート

第3次(R6～R17)

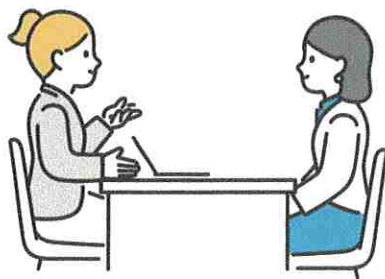
計画策定中(案)

新たな喫煙率目標値
男性20.5%
女性7.1%以下

分野	項目	目標項目	目標項目の指標	現状値	目標値	データソース	
たばこ	たばこをやめたい人の禁煙	20歳以上の者の喫煙率の減少	喫煙率 (20歳以上)	男性	23.3% (R4年)	20.5%以下	市民アンケート
				女性	8.6% (R4年)	7.1%以下	
	20歳未満の者の喫煙防止	20歳未満の者の喫煙をなくす	この1ヶ月間で喫煙したことのある者の割合 中学生(2年生)	男性	0.4% (R4年)	0%	中高生アンケート
				女性	0.1% (R4年)		
			この1ヶ月間で喫煙したことのある者の割合 高校生(2年生)	男性	1.0% (R4年)		
				女性	1.2% (R4年)		
	妊婦中の喫煙防止	妊婦中の喫煙をなくす	妊婦中、喫煙したことのある者の割合	女性	2.4% (R4年度)	0%	3か月児健康診査質問票
	受動喫煙防止	望まない受動喫煙(家庭・職場・飲食店)の機会を有する者の割合の減少	望まない受動喫煙(家庭・職場・飲食店)の機会を有する者の割合 (20歳以上)	-	家庭 :10.3% 職場 :12.6% 飲食店:18.0% (R4年)	望まない受動喫煙のない社会の実現 ^(※7)	市民アンケート

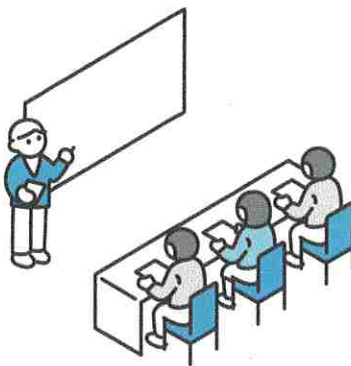
これまでの大阪市の取り組み

禁煙指導



- ・母子手帳交付時
- ・乳幼児健康診査時
- ・健診事後指導時
- ・保健師による健康相談
- ・禁煙教室(廃止)

たばこの啓発



- ・健康教育
(子育てサロン、健康講座、薬剤師会
による小学生への教育等)
- ・大学や市民イベント等
- ・他局と共同した街頭キャンペーン
- ・禁煙デーに合わせた啓発
(SNS、広報紙、ライトアップ等)
- ・地下鉄等でのポスター掲示

違反店への指導



- ・飲食店等、健康増進法違反店
への指導
- ・営業許可更新時講習会等での
啓発

本日の内容

02 ICTを用いた禁煙支援事業の位置づけ

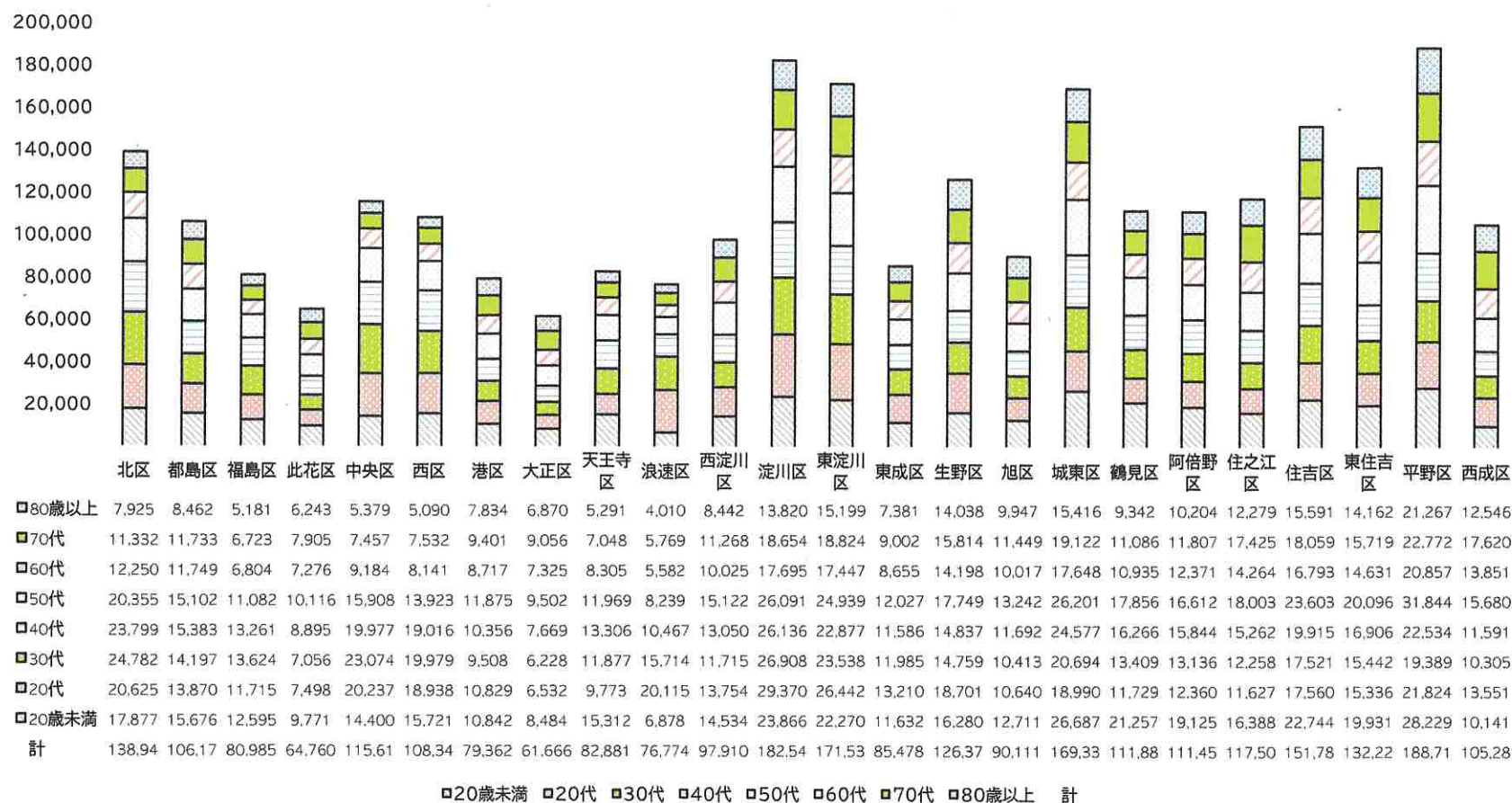
大阪市人口

R5. 12月末時点 大阪市行政区別・男女別・5歳階級別人口

大阪市の人口は、2,757,642人(男性:1,335,043人、女性1,422,599人)。

区別人口が最も多いのは、平野区。

20歳未満人口割合が最も高いのは、鶴見区の19.0%(21,257人)、最も低いのは浪速区9.0%(6,878人)です。

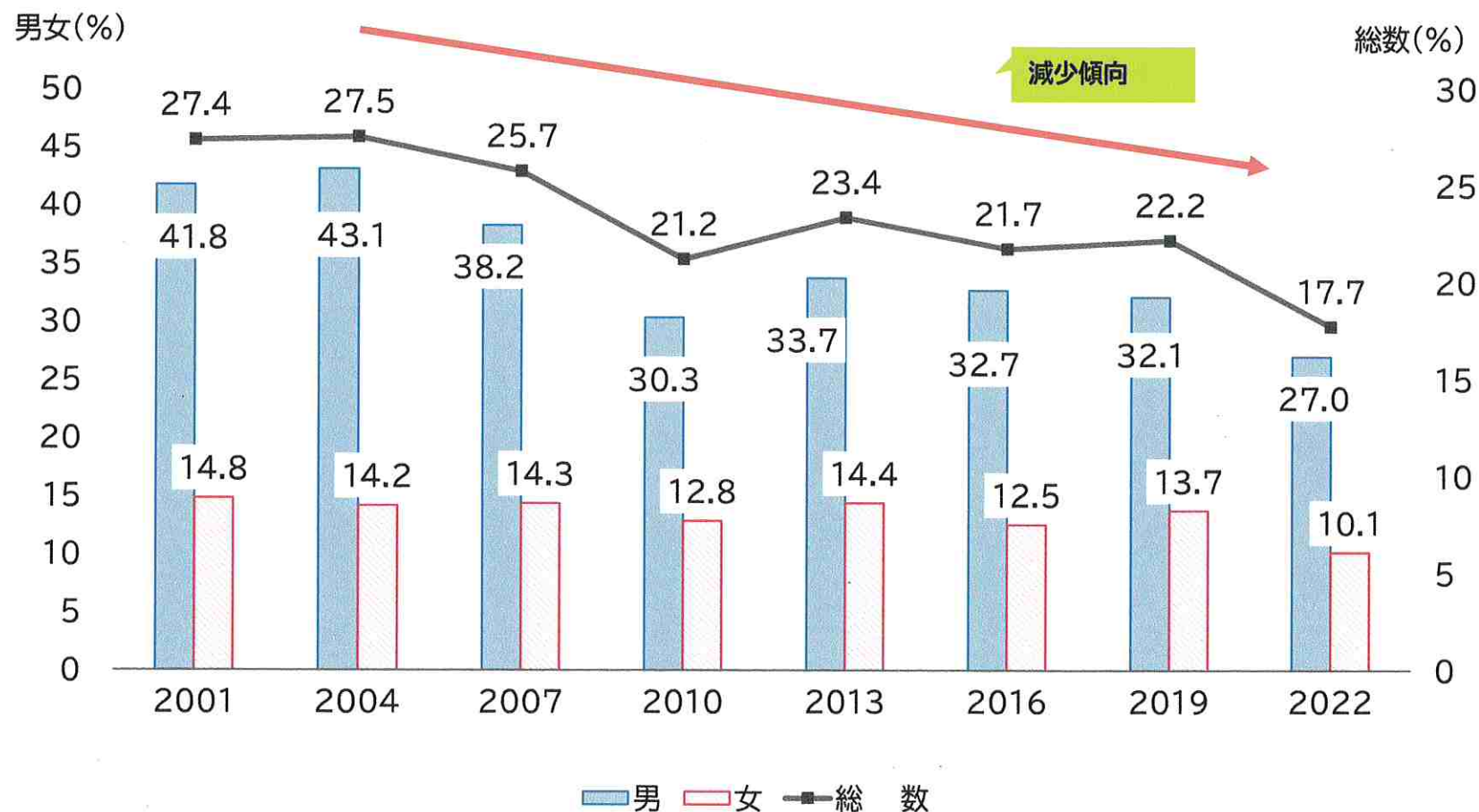


大阪市の喫煙率

国民生活基礎調査

喫煙率はやや減少傾向ですが、政令市の中では北九州市、札幌市に次いでワースト3位(17.7%)

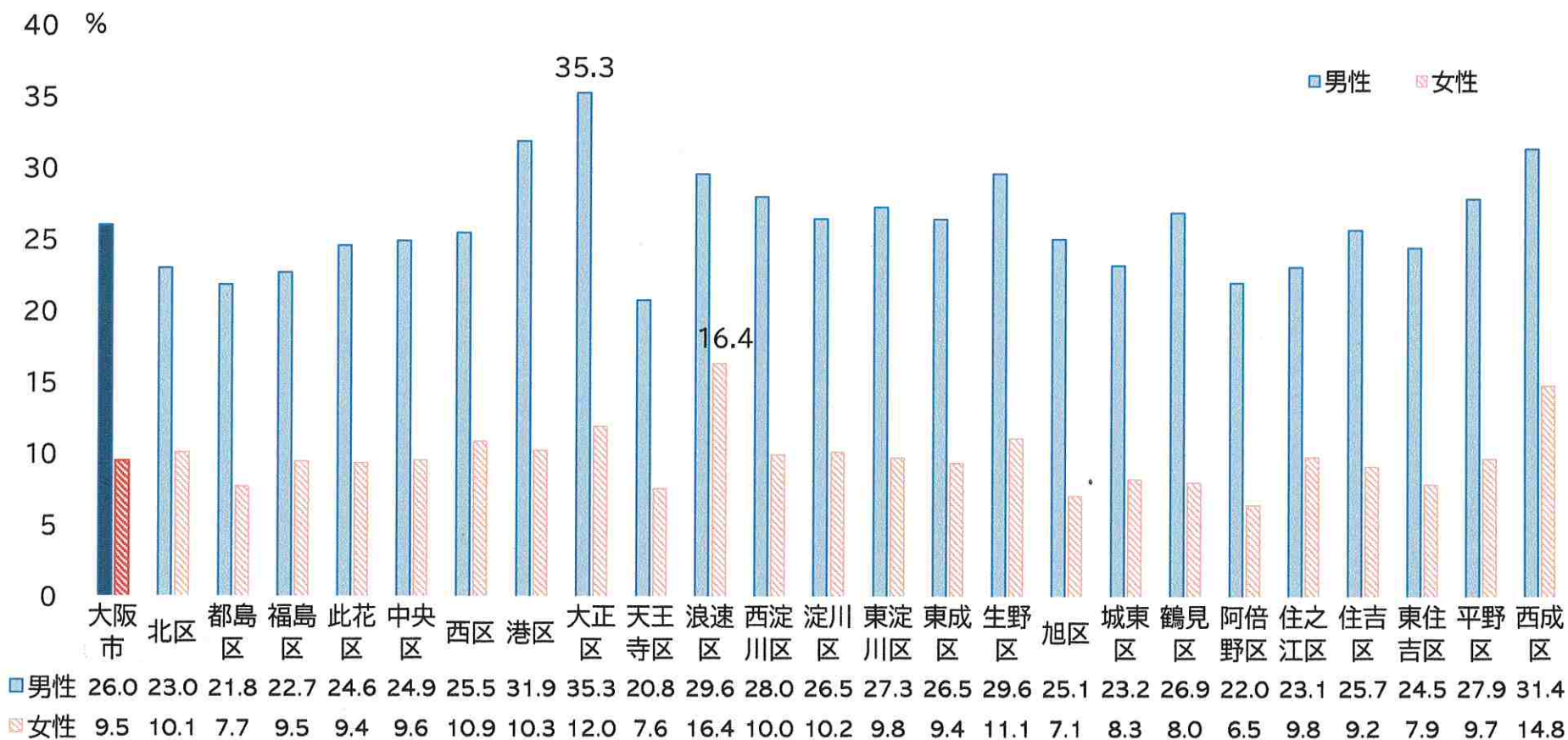
喫煙者数は、男性307,228人、女性126,320人、延べ433,548人です。(令和6年1月の推定人口から算出)

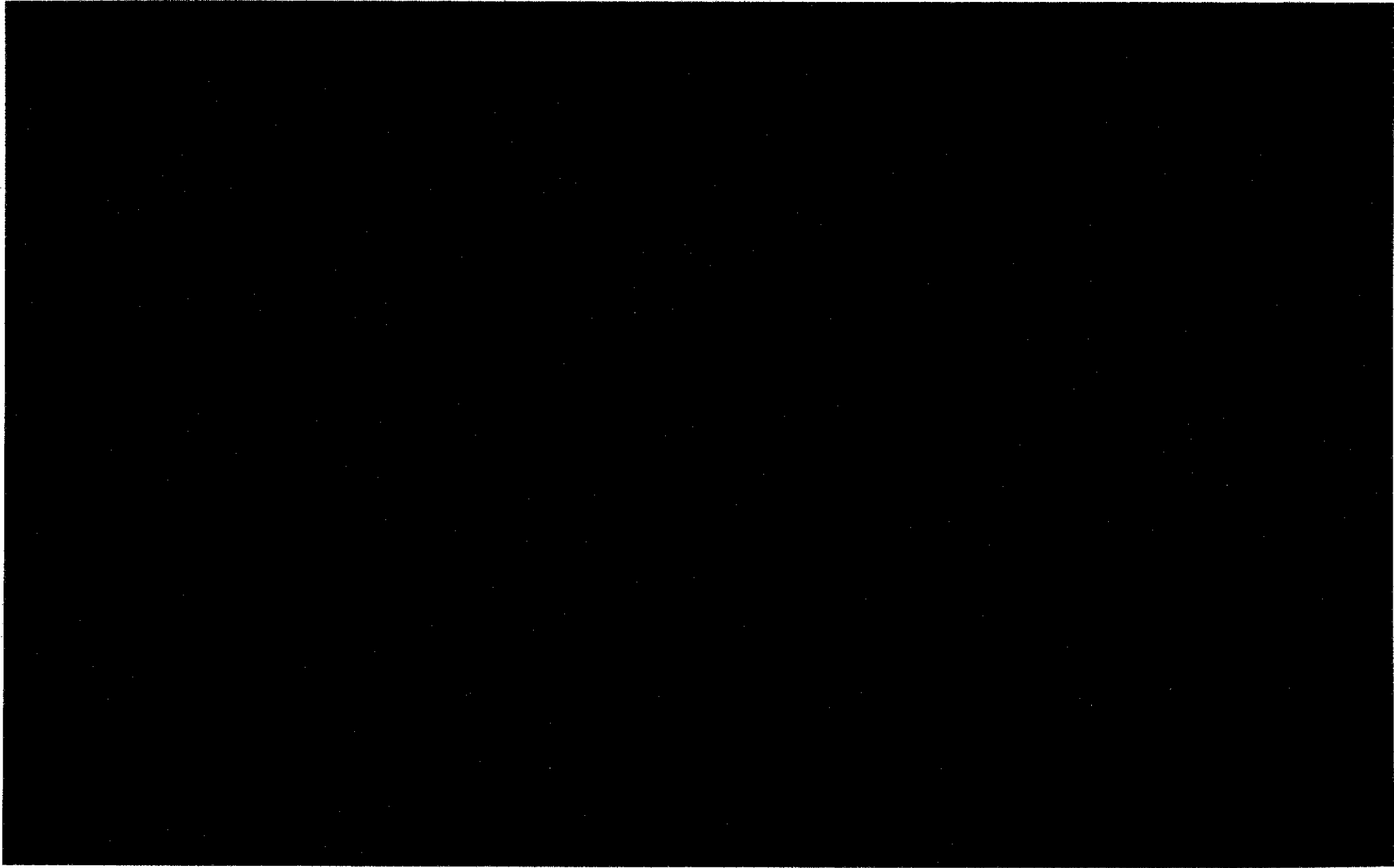


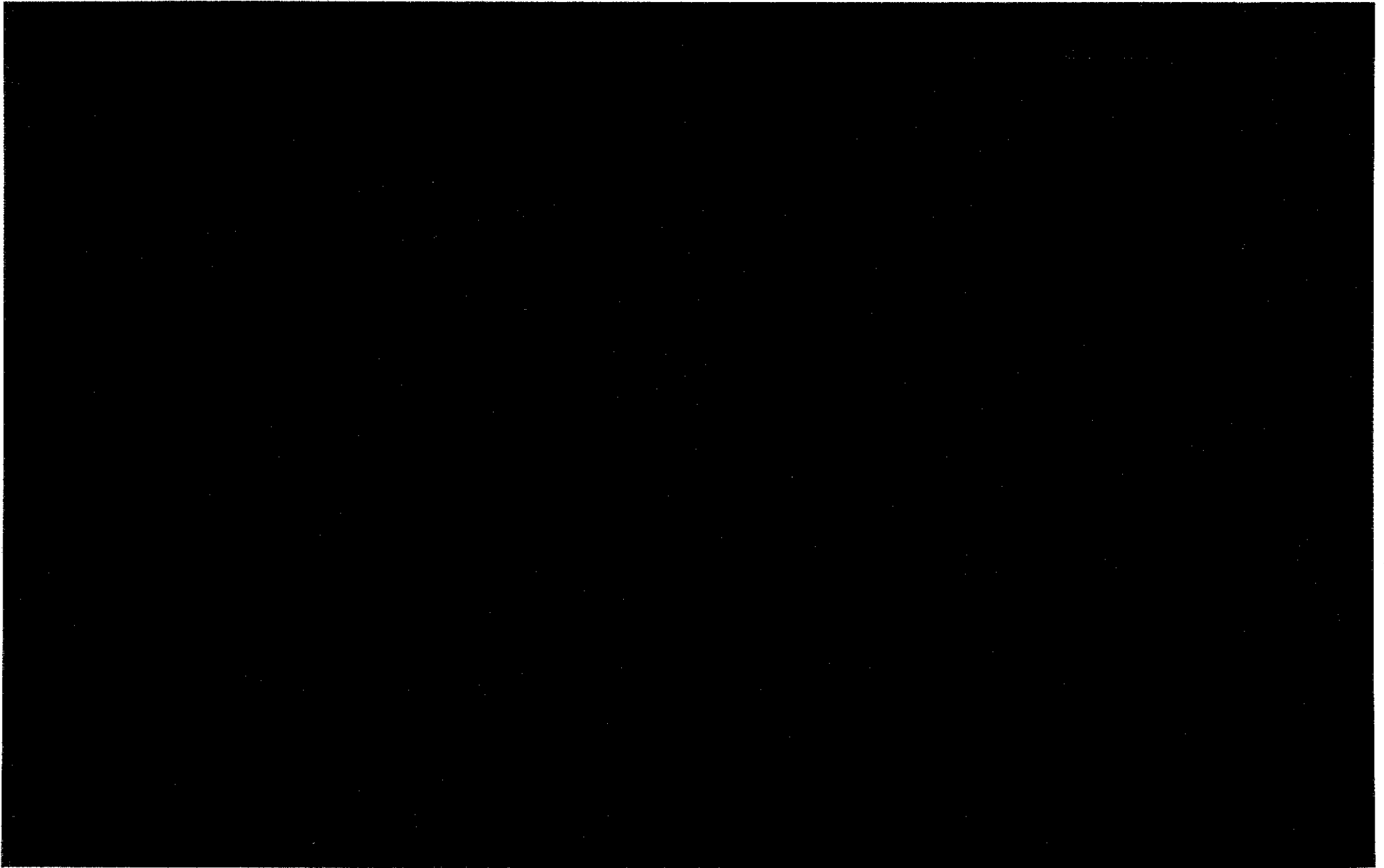
区別・男女別 喫煙率

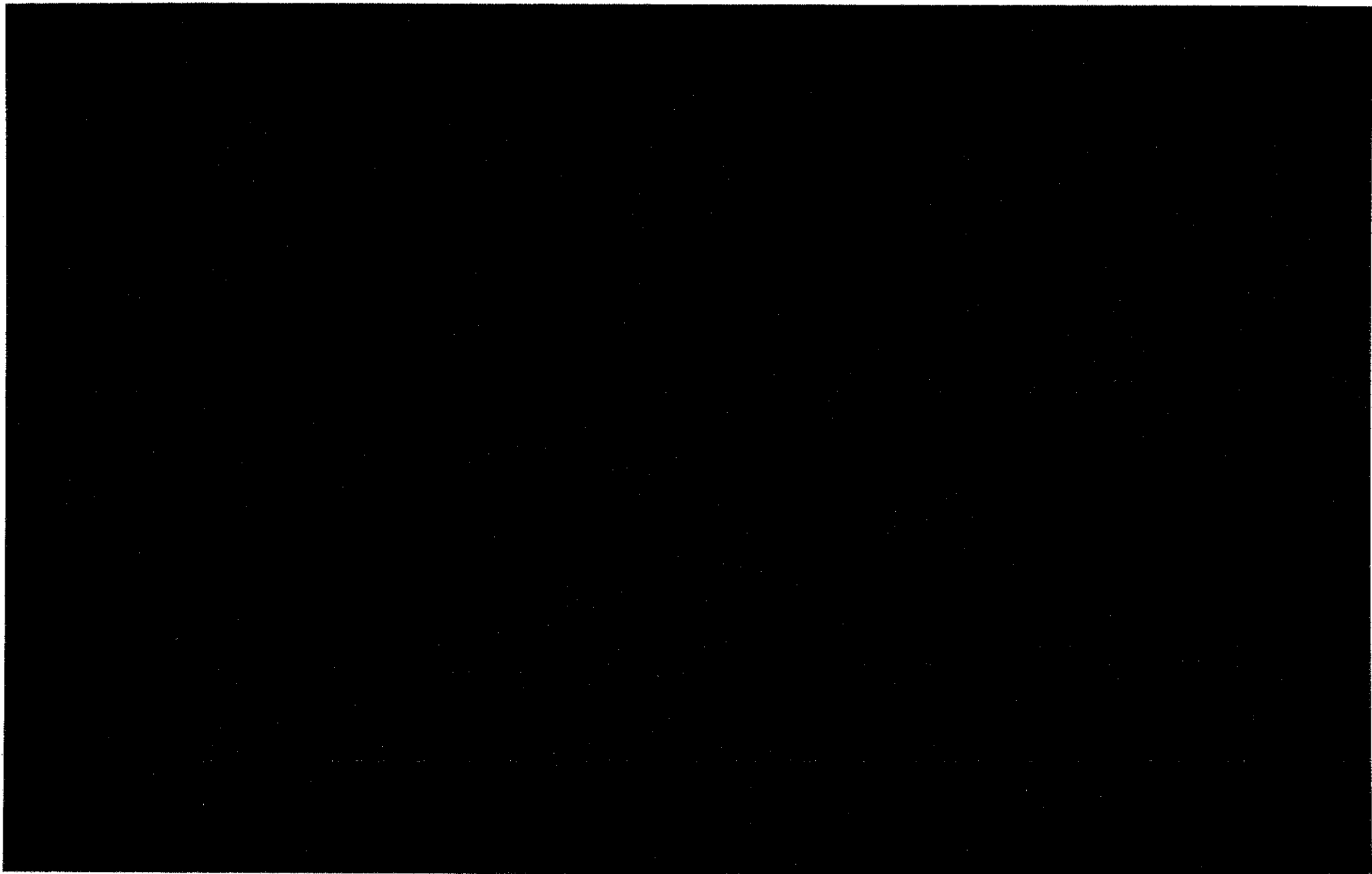
令和4年度 国民健康保険特定健診受診者
※40歳以上、国保加入者のみのデータ

喫煙率が最も高い区は、男性は大正区、女性は浪速区。









ICTを用いた禁煙支援事業 対象者（3か年）

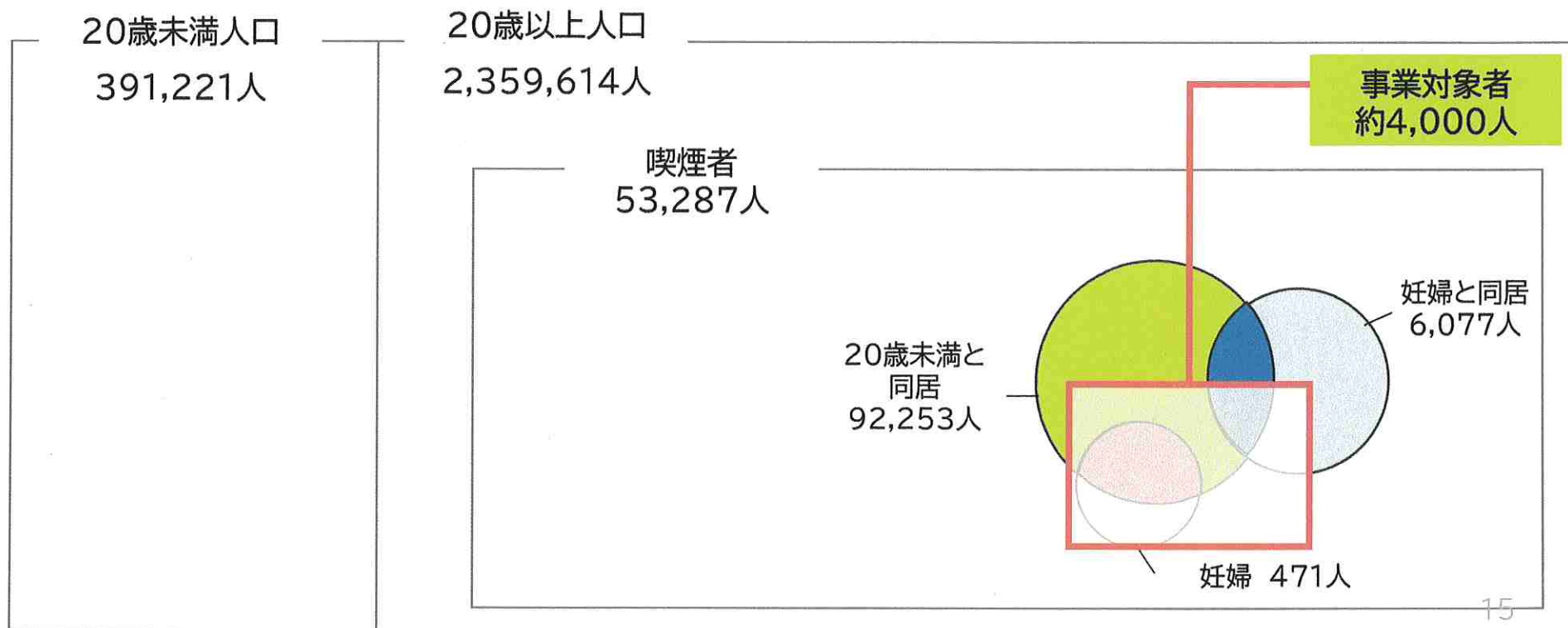
予算要求時データ

・人口：令和3年 年齢別推計人口
・喫煙率：令和元年 国民生活基礎調査
・妊婦、同居人の喫煙者数：令和3年度 妊婦届出時アンケート結果
・20歳未満と同居する喫煙者：令和2年国勢調査 人口基本集計

これらの状況から、妊婦・子育て層に対しアプリでの支援を実施することとなりました。

今回の対象者は、20歳以上の大阪市民236万人のうちの、喫煙者53万人のうちの、妊婦や子育て層と同居する人のうちの、4,000人と、限られた対象者です。

アプリ対象者から得られたデータを最大限活用し、**アプリ対象外の喫煙者への啓発**に活かしたり、**市民全体に禁煙機運が醸成**されるよう、あらゆる場面でさらなる啓発を実施していきたいと考えています。



現在の参加状況から見た参加想定数

事業者提供データより

※12月末時点データを基にしているため、事業者の資料と数字が異なる場合があります

12月末までの実績から算出すると、3か年での参加想定数は1,504人(目標4,000人)となってしまいます。

事業参加率は妊婦:1.7%(当初予定100%)、妊婦以外:1.3~2%(当初予定3%)です。

目標(R5年:1,200人、R6年:1,870人、R7年:930人)に向け、参加者を増やす対策が求められています。

	予算要求時の予定			実績 12月末 参加者数 (3.5か月)	現状を基にした想定		
	対象者数	予定参加率	想定 参加者数		3月末 参加想定数 (6か月)	令和7年度末 参加想定数 (24か月)	事業参加率
喫煙している妊婦	942	100%	942	2	4	16	1.70%
妊婦と同居する喫煙者	6,077	3%	182	15	30	120	1.97%
20歳未満と同居する喫煙者(男)	61,506	3%	1,845	103	206	824	1.34%
20歳未満と同居する喫煙者(女)	30,747	3%	922	68	136	544	1.77%
計	98,801		3,892	188	376	1,504	1.52%
			≒4,000				

・喫煙率：令和元年 国民生活基礎調査
 ・妊婦、同居人の喫煙者数：令和3年度 妊娠届出時アンケート結果
 ・20歳未満と同居する喫煙者：令和2年国勢調査 人口基本集計
 ・想定参加率：妊婦(喫煙者ゼロを目指すため)100%
 妊婦以外(豊中市実績より)3%

まとめ

- 健康増進計画や、健康増進法に基づき、たばこ対策(禁煙推進)・受動喫煙防止対策に取り組んできましたが、
全国と比較し、喫煙率は高い状態が続いています。
- 家庭での受動喫煙を防止し、新たな喫煙者を生まないために、今回は特に健康影響の大きい妊婦や子どもが
いる家庭に対し、アプリを用いた禁煙支援を実施します。
- 得られたデータを基に、より良い禁煙支援の在り方や、市として必要な取り組み等を検討したいと考えています。
今回対象者外であった喫煙者への啓発や支援の在り方、市民全体の禁煙機運が高まる取り組み等に反映して
いきたいと考えています。